



国際ロータリー 2019-2020 年度 前橋北ロータリークラブ会報



2020年 2月 3日 第1676回

会長 湯澤晃 幹事 廣木晴久
会場監督 大門副委員長

◇点鐘 会長
◇歌 国歌斉唱 我らの生業

◇出席率 71.25 %
◇前々回出席率 73.75%

◇お客様紹介 米山奨学生 雷 暁 さん

◇親睦委員会 記念品贈呈 山田光揮委員長
年男祝い 4名

湯澤晃会長
本多秀彰会員
上村哲郎会員
中嶋薫会員



結婚祝 5名

山田昇一会員
岡崎政夫会員
塩谷勝利会員
大澤栄一郎会員
設楽守廣会員



誕生日祝 6名

狩野朋丸会員
塚田憲利会員
山田光揮会員
上野宏史会員
橋本政美会員、田中伸志会員



◇ニコニコBOX

山田昇一会員…結婚祝ありがとうございます。
45年経ちました。
小和瀬健会員…結婚祝ありがとうございます。
塩谷勝利会員…結婚祝ありがとうございます。
結婚11年感謝しかありません。
女屋恭治会員…結婚祝・誕生日祝ありがとうございます。
ちょっとお休みをしている間にたくさんの頂き物をしてありがとうございます。
岡崎政夫会員…38回目の結婚記念日です。良く持続したものです。Wifeに感謝です
設楽守廣会員…結婚祝ありがとうございます。
狩野朋丸会員…誕生日祝ありがとうございます。
56才になりました。
塚田憲利会員…誕生日祝ありがとうございます。
山田光揮会員…誕生日祝ありがとうございます。

◇幹事報告 廣木幹事 理事会報告

◇委員会報告 親睦委員会 山田委員長 2月17日夜間例会
ゴルフ部 大島秀夫会員

◇米山奨学生 雷 さん

皆さま、こんにちは。最近中国で新型コロナウイルスが流行り世界中の人が不安になっています。中国人は皆、マスク不足の状況で日本からマスクを送ってもらい頑張ってもらいたいと応援してもらいました。TVでも報道されて、日本からいろいろ支援していただいて私、中国人として皆さまにすごい感謝しています。

私の地元は無事でしたが、中国人として友達が武漢に居て皆、医療のお医者さんとか看護師

さんとか友達がいっぱいいて武漢の病院ではないけど、いろいろ起きています。

日本は歴史のページを変えずに中国を支援してくれてありがとうございます。私も群馬大学でも募金とかいろいろやっていますので、募金とか(募金をしてほしいという事ではなく)そういうつもりではなく、あの今回は何を言おうとかわからないけど、とりあえず、すごく皆様に感謝しています。

◇会長の時間「裁判所の裁判官」

先程の雷暁さんからお話を頂きました、中国を中心とした新型肺炎が蔓延しております。中国では国家をあげて対策を立てているようです。終息の方向へ進むことを願っております。

ただ、その間は日本にいる雷暁さんもそうですが、民族が違うというだけで場合によっては色々な偏見もあると思いますが、我々は同じ人間、仲間なので寄付はもちろん、各方面で応援をしていきたいと思えます。

今日の会長の時間は仕事に関係するお話させて頂きたいと思えます。**裁判**は誰が主催をしているかと言いますと**裁判官**という事になります。裁判官というのは、どうゆう方がやっているのかという日本の場合には司法試験に合格した中から裁判官になる人間が基本的には出てくるという事になります。簡単に言うと司法試験の成績、それから司法試験に合格した後の司法修習という修行する期間の成績等で裁判官の面接を受けて、裁判官に選任されるという事になります。裁判官は憲法上では身分が保証されており、ちょっとの事では首には出来ないという事になっております。

日本の裁判に関しては皆さんからよく出る批判として、おかしい判決が出たとかおっしゃる方もいらっしゃいます。日本の裁判官のシステムは、先程申し上げた通り司法試験に合格して、そして採用されると概で20代の若者が面接に合格して裁判官になり定年退職をするまで裁判所に裁判官として勤務されるという事が多いです。

我々はその隣接業として弁護士という仕事をやっていて裁判官と裁判の場で相まみえる事が本当に多いです。彼らは裁判所の建物の中で一生を過ごすというような感じでございます。だから外部の世界と殆ど接触がないです。これがおかしい結論が出る理由、おかしい判決が出る理由という風に言われております。逆に言うと、外と隔絶された世界で仕事をしているので外部の影響を受けないです。

アメリカの最高裁の裁判官が日本の最高裁に訪問に来た時の最初の質問が「日本の裁判官で買収される人はいるのか？」という質問だったそうです。つまり海外では場合によっては裁判官が買収されてしまうという事があるという事です。日本の場合には隔絶された世界なのでありません。先程、申し上げた通りそういう危険性はとても低いです。

そういう意味では公平な裁判官、裁判、判決になるという事ですが、場合によっては世間を知らないものですから、常識外れの判決が出るという事になります。

裁判官も裁判所の中では出世街道というのがあります。概10年位は裁判官、判事補佐という期間があり修行ではないですが単独で事件を処理できないという時期があります。それを過ぎると単独で判決を書けるようになり裁判所の中での地位も上がっていきます。

よく言われるのは、10年位経つと裁判官の場合、刑事系の裁判官として出世していくか、民事系の裁判官として出世していくかに分かれます。その後、その上の方のポストは刑事系のポストがこの裁判所とか決まっているらしくそのルートに上がっていきます。もちろん途中で出世街道から外れる方もいらっしゃいます。最後、限られた人間が最高裁の裁判官まで昇り詰めるという事になります。裁判官の評価はいろいろありますがやはり、判決がひっくり返されない事が結構大事な事らしいです。それから短時間の間に沢山の事件を解決するというのも、もちろん評価の対象になるらしいです。

当事者として弁護士、代理人として参加していると裁判官というのは、まず和解で何とか事件を終わらせようと考えます。それは和解程度終わると早く処理が出来るという事なんです。ですから出世したい裁判官はなるべく和解で沢山の事件を解決したいと考えるみたいです。当事者からしてみると、これは判決しかあり得ないような事件でも和解を勧めている事があります。皆さんも当事者として、もしかしたら関わるかもしれません。そういう裁判官側の事情も弁護士さんから聞いて頂ければと思えます。今日は裁判官のお話をさせて頂きました。